



見上げディテール

明治大学 中野キャンパス

「知の森」をイメージした新校舎。高層棟の外壁は味わい深い、拘りのタイルを使用しました。

地下1階、地上1-4階の中野キャンパス新校舎が2013年4月に開校しました。校舎はシンボリックな高層棟、樹木状の柱や大きなゲートを配置した低層棟で構成されています。高層棟の外観に使用されたタイルはやきもの特長である色幅が大きくなる還元焼成の手法で作られ、タイル表面には砂つぶで引っ掻いた面状のラフな面状の特注タイルです。基本色となるやさしい色合いのページュの中に、更に5種類の色味があり、混合比率にもこだわりを持って複雑な比率で張り合わせて微妙な表情をもっています。目地は深目地とし、目地の陰影が見る角度によってはっきりと浮かび上がり、表情に深みを持たせる効果を演出しています。



全景

DATA

設計：株式会社三菱地所設計
 施工：清水建設株式会社
 所在地：東京都中野区4-21-1
 竣工：2013年1月

商品情報

外壁タイル：FC-2RG/227*60/OM3633-32:33:35:38:19
 =18:37:22:14:9+MG 粗面

外観



全景



見上げ

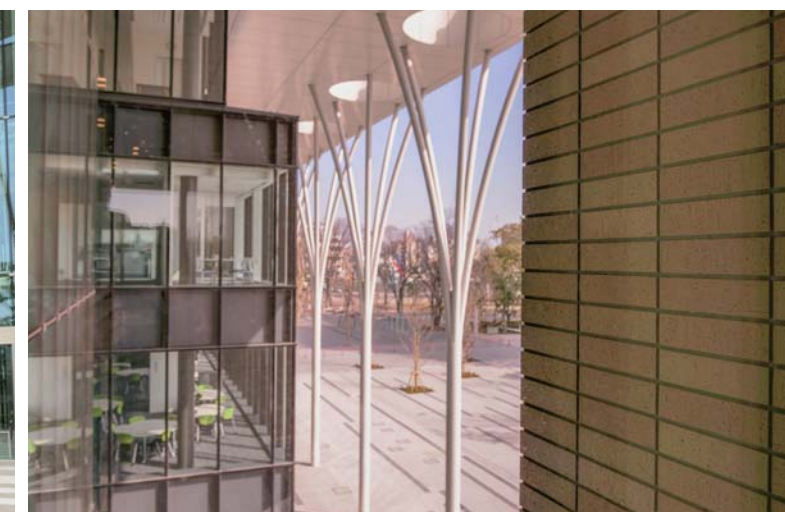


カーテンウォール低層部

外観



エントランス付近



2階内部より

ディテール



コーナーディテール



ディテールアップ